観光庁スタート こう思う こう望む

(順不同)

地方との連携さらに強固に

大澤正明・群馬県知事

群馬県は、首都圏から100キロ圏内に位置し、「尾瀬国立公園」に代表される豊かな自然や「草津温泉」に代表される豊富な温泉資源に恵まれ、年間6千万人の観光客の方々が訪れております。また、今後、北関東自動車道が全線開通すると、交通の要衝地・物流拠点としての位置づけがますます高まります。私は、こうした本県の潜在能力を十分活かし、本県経済の活性化を図るため、「観光立県ぐんま」の推進を県政の重要な施策のひとつと位置づけ、18年度に設置した「観光局」を中心に、県を挙げて観光振興に取り組んでおります。「観光立国」の推進を目的として設置された「観光庁」は、これまでの本県の取り組みと一致するところも多く、大いに歓迎するところであります。新たにスタートした「観光庁」が、省庁横断的に、総合調整機能を十分発揮され、これを機に、国と地方の連携・協力体制がさらに強固となり、様々な政策を総合的に推進できるものと期待しております。

対外的なリーダーシップを

石川嘉延・静岡県知事

本年10月の観光庁の新設は、平成18年末の観光立国推進基本法の成立、昨年6月の観光立国推進基本計画の策定を受け、国を挙げて観光立国の実現に向けて取り組む体制が整ったという点で、非常に意義があることだと思います。本県では、来年3月の富士山静岡空港の開港による国内外からの観光客の誘客とコンベンションの誘致を強化するため、本年4月に観光局を設置し、組織の強化を図りました。観光は、農業など他の産業と密接に関連するすそ野の広い産業であることから、政府部内での施策の調整機能が強化されるほか、誘客への対外的な強いリーダーシップが発揮されることを期待しております。

地域の取り組みに支援を

谷本正憲・石川県知事

人口が減少に転じた中、人やモノの往来を盛んにし、地域の活力を維持・向上させていくためにも、観光の果たす役割は、大変大きくなっています。また、近年の観光は、本物や、体験による精神的な満足感を求める傾向が強くなっています。本県には、加賀百万石の風土の中で培われた伝統文化や四季折々の豊かな自然など、本物を体験できる数多くの財産があります。本県では平成17年に観光交流局を設置し、これらに磨きをかけるとともに、整備された交流基盤を活用し、国内のみならず、台湾、韓国、中国など海外からの誘客に取り組んでいます。こうした中、観光庁には、観光立国の実現に向け、強力なリーダーシップのもと、外国人観光客数の増加に向けた戦略的な施策を推進していただくとともに、地域独自の取り組みに対してはこれまで以上の支援を大いに期待しています。

地域と一体で観光振興を

荒井正吾・奈良県知事

観光庁発足を心からお祝い申し上げます。さて、奈良県は3つの世界遺産をはじめ数多くの文化遺産や豊かな自然環境に恵まれていますが、観光立県としてさらなる飛躍を目指して、新たな魅力の創出にも取り組んでおります。特に、中国、韓国とのゆかりも深く、その強みを活かした取り組みもはじめたところです。来る2010年は平城京に遷都されてから1300年という節目にあたり、「平城遷都1300年祭」を開催し、国内外から多くの誘客を図ることとしています。今後とも観光庁が地域と一体となって観光振興を積極的に推進され、一層ご発展を遂げられることを期待しております。

リーダーとしての役割を

仁坂吉伸・和歌山県知事

観光関係者の念願であった「観光庁」が創設されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、一昨年の観光立国推進基本法施行と相まって、我国の観光立国実現に向けた政策・体制両面での強化が図られると確信するものです。和歌山県におきましても「観光立県」を目指し「高野・熊野」の世界遺産、豊かな自然や温泉、全国に先駆け取り組んでいる「ほんまもん体験」など8つの分野ごとに和歌山売り出し戦略を立て、多くの恵まれた観光資源を活用し国内外からより多く観光客をお迎えできるよう懸命に努力しております。今後、観光庁が私どもの優れたリーダーとして、また良きパートナーとして役割を担われますことを期待申し上げます。

交流がつくる元気な兵庫

井戸敏三・兵庫県知事

いよいよ観光庁がスタートしました。成熟の時代を迎えたいま、交流人口の拡大が、人や地域を元気にしてくれると期待しています。そのためには、地域の持つ個性を積極的に発信していくことが大切です。兵庫県は、推進本部を設けて観光・ツーリズムの総合的推進に取り組み、「元気な兵庫」の実現をめざします。この秋からは、JR各社と連携した来春の「あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン」に向け、多彩な活動を展開します。それだけに、観光庁の誕生は本当に心強いことです。これを機に、日本の観光・ツーリズムの飛躍を期待します。

観光立国実現へ一段と加速

溝口善兵衛・島根県知事

このたびの観光庁の新設により、官民を挙げて観光振興に取り組む体制が整います。これを契機に観光立国の実現に向けた動きが一段と加速していくことを期待いたします。現在、島根県は、鳥取県および島根・鳥取両県の観光関連団体等と連携し、両県にまたがる「中海・宍道湖・大山」圏域の魅力を広く知っていただき、観光客の来訪・滞在につなげようと「観光圏整備事業」に取り組んでいます。また、島根県民総ぐるみによる観光推進の気運醸成にも力を入れているところです。こうした取組が観光庁の新設により、さらに多くの成果を上げ、「活力あるしまね」の実現に大きく近づくことを期待しています。

コーディネート役を期待

金子原二郎・長崎県知事

観光立国の実現に向け、観光庁が設置されますことを心よりお喜びいたします。観光立県の実現を目指す長崎県でも、観光振興のため組織体制を強化し、魅力ある観光地づくりや国内外からの誘客宣伝活動に積極的に取り組んでおり、観光は県政の主要な柱となっています。観光庁におかれては、国の観光施策を総合的かつ計画的に推進する立場で、ビジット・ジャパン・キャンペーン事業の推進や外国人観光客を受け入れるための環境整備、地方公共団体や民間による観光地づくりへの支援など観光立国に向けたトータルコーディネート役としての機能を期待いたします。

「観光新時代」の幕開けに

蒲島郁夫・熊本県知事

「観光庁」の新設は、このたび「歴史回廊くまもと観光立県」宣言を行いました熊本県にとりましても、牽引役になっていただけるものと期待は大変大きく、また心強く感じています。新幹線全線開業を3年後に控えた熊本県では、多様な歴史遺産、阿蘇に代表される雄大な自然、豊富な湧水と温泉、新鮮な農林水産物などを最大限に生かし、県民総参加で「記憶に残る観光地」熊本を実現し、訪れる多くの方々に感動体験をしていただきたいと考えています。観光新時代の幕開けを関係者の皆様方とともに心からお慶び申し上げます。

地方活性化にも大きく寄与

東国原英夫・宮崎県知事

観光庁の新設を心からお祝い申し上げます。観光は、あらゆる分野の経済活動に波及効果をもたらす総合産業であり、21世紀の日本経済社会の発展のためには、観光立国の実現が不可欠であります。観光庁の発足により外国人観光客の誘致、国内旅行の活性化、魅力ある観光地づくりが促進され、地方経済活性化にも大きく寄与するものと考えます。宮崎県では、今年4月、新たに「観光交流推進局」を設置し、観光振興や交流促進を県の最重要施策と位置付け取り組んでいます。観光庁においても、国・地方ともに発展する観光立国の推進に、強いリーダーシップを発揮されるよう期待しております。

観光リゾート産業の牽引を

仲井眞弘多・沖縄県知事

観光庁始動を心からお祝い申し上げます。このたびの観光庁の設置は、沖縄県としても大変心強く、大きな期待を寄せているところであり、国際観光および国内観光の振興のため多大なご尽力を発揮されるものと期待しております。沖縄県におきましては、観光・リゾート産業が本県経済を力強く牽引するリーディング産業として一層成長・発展していくため、将来の観光客数1千万人を目指しているところであり、観光庁の始動は、まさに時宜にかなったものであります。観光庁が観光・リゾート産業を牽引していただき、地方活性化が図られますよう心より期待しております。

観光立国へ力を合わせて

船山龍二・日本ツーリズム産業団体連合会会長

日本は現在複合危機に直面、また少子高齢化社会で労働人口数が減少、総生産も減少しています。その活性化・内需拡大の切り札として観光庁が新設され、観光振興が国の重要な施策に位置付けられました。観光振興・観光業界の克服すべき課題は山積みですが、我々観光業界も観光振興の一翼を担っていることを自覚し、誇りを持って力を合わせて観光立国に向け力を尽くしましょう。商品造成・拡販は我々の双肩にかかっており、需要創出型で、わかりやすい、値打ち感のあるかつ効率的な商品造成に努め、日本の優れた多様性・独自性・最新性をわかりやすくまたおもてなしの心で海外に発信していきましょう。**(日本観光通訳協会会長)**

成熟した先進国へシフトを

村尾成文・国際観光施設協会会長

観光庁の設置は成熟した先進国に日本が脱皮する動きとして誠に喜ばしいことです。成熟した先進国へのシフトの象徴のひとつとして観光立国があり、国際的な相互理解のためにも観光交流は極めて大切です。また、長期的で永続的な観光地開発が必要であると言われるようになっています。このためには景観の魅力の創造・保全、観光資源の開発、地域や都市づくりに集約される独自の観光地づくり、生活・人づくり、環境保全、安全と安心、広報活動等極めて多面的な努力が欠かせません。観光活動を支える多様な領域の推進・調整役として観光庁には大きな期待が寄せられているのです。

観光立国実現へ一層貢献

間宮忠敏・日本政府観光局(JNTO)理事長

ビジット・ジャパン・キャンペーン開始以降、訪日外客数は順調に伸び、インバウンドの意義についての社会的認識も高まっていますが、まだまだ課題が多く、観光立国の実現のためには今後の取り組みが大変重要となります。このような中、観光に携わるすべての関係者の力を結集し、日本の観光の国際競争力を高めていくためのリーダーシップが求められており、それこそが新設される観光庁に最も期待されているものだと思います。観光庁のインバウンド政策の実行部隊の役割を担う私どもも、観光庁としっかりと連携し、観光立国の実現に向けてより一層貢献すべく、取り組んで参りたいと思います。

観光立国へ大きな弾み

佐藤義正・国際観光旅館連盟会長

「観光庁」の設置は「観光立国」の推進に向けて大きな弾みとなるものであり、観光地域の活性化、観光産業の活性化に向けた政府の新たな政策展開に業界人として大いに期待をしているところであります。旅館業の重要性については国の施策に明確に位置づけられ、観光振興を図る上でその果たす役割の重要性が認知されてきたところであります。本連盟も本年60周年という節目の年を迎え旅館業界の新たな飛躍、発展の出発点として、日本文化である旅館の魅力向上に向け、その役割を十分に果たして参りたいと考えております。これを機に観光産業界が一致協力して「観光立国」の実現に向けてさらなる取り組みの強化が図られることを祈念します。

観光庁創設は〝希望の光〟

津田暁夫・国際観光日本レストラン協会会長

観光関係事業者として観光庁の創設は大変喜ばしいことであり希望の光であると思います。私ども民間事業者は観光庁の創設が伝家の宝刀であり観光立国の推進が行政主導で一気に進められると考えるのは主体性の無い責任転嫁です。自分たちの持っているノウハウを最大限活用し、どのように観光振興を図っていくか一人ひとりの意識を高め変革していかなければならないと考えます。行政に求めることは、国民すべてに観光意識を啓発すること。また、観光事業に携わる多くの中小業界を有機的につなげ大きな力となるよう接着剤の役目を果たしていただくことと期待しております。

民間の関係者の自覚が必要

飛田克夫・ジャパニーズ・イン・グループ会長

日本は外国人により開国を迫られました。ペリー来航　敗戦、そして異質な開国、VJCです。自ら開国しても民間である観光産業に携わる関係者の自覚が必要と思われます。サービス業はリピーターを増やさない限り成長はあり得ません。「日本のここが魅力だから来てもらいたい」というメッセージを都市、地方村町が強く訴えるべきです。環境省、警察関係、総務省などの垣根をはずした総合力の庁でいていただきたい。行政の垣根を越え、民間の活力で2010年の1千万人達成も見えてくると思う。

忘我の刻(ひととき)、平家の夢に融(と)け込んで。

伴久ホテル

享保三年(一七一八年)創業

湯西川温泉

● 離れ取居士の玄関

● 露天風呂「四季の夢」
● 大浴場「夢の里」

「渓谷の川原の湯 三湯」

湯西川の畔、平家哀話を今に伝える優雅な風

● ロビー
● 囲炉裏端料理
● 客室
● 貸切風呂「離れ湯」

おしゃれ浴衣

古典柄からデザイナーズブランドまで厳選した1300種類以上の中からお選びいただけます。さらに、記念撮影のお手伝いも。旅の思い出作りにあなただけの「おしゃれ浴衣」をお役立てください。

伴久ホテル
〒321-2601栃木県日光市湯西川597
電話 0288(98)0002
ファクス 0288(98)0052

東京営業部予約センター
〒166-8585東京都杉並区阿佐谷北4-7-20
電話 03(3339)2500
ファクス 03(3337)9030

施設概要
収容人数550名様／客室121室(内スイートルーム6室)／宴会場(いろり式宴会場):落人亭・3号館・5号館／宴処(特別宴席):夢の宴／料亭街:夢小路(華の間・風の間・紅の間・雪の間)／会議室:夢語り／プライベート・バー:夢重ね(会議室としてご利用可能)／レディース・ラウンジ:おしゃべりクラブ／クラブ:夢ごごち／和風バー:どりー夢／お食事処:公達の夢／総檜大浴場(女性用、男性用):夢の里／露天風呂(女性用、男性用、混浴用):四季の夢／伴久プラザ:夢待ち通り／おみやげ処:夢さがし／駐車場:バス30台・乗用車100台